

課題名：せん妄対応支援プログラムに関する研究開発

代表機関：株式会社DELISPECT  
分担機関：順天堂大学、国立研究開発法人国立がん研究センター、筑波大学  
全研究開発期間：2025/7/18～2026/3/31

**研究の背景・目的：せん妄の予測と予防支援**

- せん妄は、高齢入院患者に頻発する一過性の意識障害で、医療従事者の負担増と患者の在院日数増につながっている。
- DELISPECTは、簡便かつ高精度にせん妄を予測し、効果的な予防手法を提示する「せん妄対応支援プログラム」（クラスⅡ医療機器）を開発している。
- せん妄対応支援プログラムを試験的に医療機関へ実装することで、せん妄の発症抑制と病院収益改善の双方の効果を検証する。

**事業達成状況および成果：せん妄発症率の低下と在院日数の短縮に効果**

- せん妄対応支援プログラム導入後にせん妄発症率を50%低減
- せん妄対応支援プログラム導入後に平均在院日数を4日短縮
- AIモデルの再学習により、せん妄発症の予測精度を改善

**研究の将来展望：許認可取得と国内上市**

- 本研究により、せん妄対応支援プログラムの導入による医療機関の臨床的価値と経営効果が示された。
- 今後、医療機器製品として許認可を取得し、国内での販売開始を予定する。

概要イメージ

